

Pacificchem2015 に参加して

相関基礎科学系 博士課程1年 松尾宗征（豊田研究室）

「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」よりご支援を頂きまして、2015年12月に環太平洋国際化学会議（Pacificchem）に参加致しました。本会は、日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、中国の計7カ国の化学会が5年に一度ハワイで合同開催する大規模なもので、その参加人数は1万人を超えます。

私は、「Morphological diversity of giant vesicle-based protocell depending on degree of complexation of DNA and catalysts」というタイトルで、我々のグループで推し進めているベシクル型人工細胞におけるDNAの酵素様機能と新奇遺伝子発現系について、開催4日目に発表しました。ディスカッションさせていただいた方々からは、鋭いご質問とともに、一様に大変興味深いとのご感想をいただき、自身の行っている研究のさらなる自信につながりました。会場で共同研究のお話も頂戴し、鋭意進行中です。また、本発表は応募数約3500の学生発表からファイナリストに選出され、別の日にも発表する機会を得ました。

滞在中には、知見を広げるべく、現地の生物図鑑を購入し、野生動物の生息地を調べ、実際にフィールドワークも行いました。具体的には、アオウミガメとハワイアンシーモンク（アザラシの1種）を探しに出かけました。軽装備でいったため、苦労が多くありましたが、夜の山で偶然会ったカナダ人や快く車で近くの町まで運んで下さった現地の方のご協力で、何とか生きて帰ってこれることができました。また、それらの甲斐もあって、野生のアオウミガメとアホウドリの営巣地を発見できました。

末筆ながら、このような貴重な経験をできましたのも、「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」のご支援あってのものです。一学生として、心より御礼申し上げます。

